

日本映画の創造・振興プラン

令和7年度予算額

1,180百万円

(前年度予算額)

1,180百万円)

背景・課題

- ・【人材育成】日本映画の魅力を維持・向上していく上での基盤整備として重要。中長期的視野に立った人材育成への投資は、個社レベルでは限界。
- ・【製作支援】日本映画の持続的な発展の観点からは、多様な映像作品が継続的に生み出される必要。興行的な成功を優先すると切り捨てられがちなストーリーや表現の育成といった観点も重要な視点。
- ・【国際発信】中長期的視点に立てば、我が国人口の減少に伴い、市場そのものが縮小していくことが懸念。魅力的な作品作りを維持・強化していくためには海外市場を含めたマーケットの拡大を図る必要。
- ・日本映画の振興のため、次代に繋がる、多様で優れた世界に誇る日本映画の創出サイクルを確立させることが必要。

【文化芸術基本法】（メディア芸術の振興）

○第九条 国は、映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術（以下「メディア芸術」という。）の振興を図るため、メディア芸術の制作、上映、展示等への支援、メディア芸術の制作等に係る物品の保存への支援、メディア芸術に係る知識及び技能の継承への支援、芸術祭等の開催その他の必要な施策を講ずるものとする。

【新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024】

3. コンテンツ産業活性化戦略
 (2) 海外展開及び世界に通用するコンテンツの制作・流通の促進
 …若手クリエイターを海外に派遣し、世界に通用するコンテンツ制作の経験を積む機会を提供する。…また、国際舞台での活躍が期待されるクリエイターとプロデューサーの双方について、国際的なネットワーク形成や国際見本市や国際映画祭への出展支援を強化する。

【経済財政運営と改革の基本方針2024】

(コンテンツ産業の海外展開)
 アニメ・音楽・放送番組・映画・ゲーム・漫画等について、「コンテンツ産業活性化戦略」を官民連携して推進する。
 …コンテンツ産業について、国際見本市・映画祭への出展など、制作会社が行う海外展開の支援、クリエイターを目指す学生等に対する留学支援を行う。

(文化芸術・スポーツ)

…さらに、食文化の推進や観光・まちづくりとの連携等を通じた地方創生や、アート市場の活性化や日本博2.0等を通じたグローバル展開力の強化を図るとともに、デジタルアーカイブ化やクリエイターへの対価還元を含むDXの推進、子どもや障害者の文化芸術鑑賞・体験機会の確保、舞台芸術や日本映画、書籍を含む文字・活字文化の振興（書店と図書館等との連携促進を含む）や書店の活性化を図る。

事業内容

基盤等整備

若手映画作家等の育成

若手映画作家等に対し、ワークショップや映画製作を通じた技術・知識の習得機会等の提供、プロデューサーと連携した企画・脚本開発のサポートを実施。
 また、映画制作の現場において、各過程を担う専門性の高い若手映画スタッフを育成。〔委託事業〕

- ・ 事業期間：平成16年度～
 （内短編映画製作 平成18年度～）
- ・ 支援対象：若手映画作家 15人程度 等



創造・製作活動

日本映画製作支援

優れた日本映画や国際共同製作映画の製作活動に対して支援することで、多様な作品の上映に寄与。

〔補助事業〕

- ・ 事業期間：平成23年度～
- ・ 補助金での支援（上限：日本映画2,140万円、国際共同製作1億円。バリアフリー字幕、音声ガイド、多言語字幕制作について、各々上限1百万円の実費。）
- ・ 支援対象：劇映画21件、記録映画9件、アニメーション9件、国際共同製作6件



発信・海外展開・人材交流

日本映画の海外発信

海外映画祭への出品支援や海外映画祭におけるジャパン・ブース等の出展など、日本映画の効果的な魅力発信につながる取組を実施。

加えて、令和5年6月の日韓文化大臣会談において両国間の更なる文化交流を促進することで一致したことを踏まえ、芸術系大学等を対象として映像分野におけるグローバルネットワークを構築。〔委託事業〕

- ・ 事業期間：平成15年度～
- ・ 支援対象：出品等支援42件、海外映画祭出展4件、監督派遣3件 等



国立映画アーカイブとの有機的な連携

国立映画アーカイブとの有機的な連携を図るため、以下の事業を（独）国立美術館運営費交付金において実施する

優秀映画鑑賞推進事業

広く国民に優れた映画鑑賞の機会を提供するため、日本各地の文化施設等と連携・協力して、所蔵映画フィルムの巡回上映を全国の会場で実施

ロケーションデータベースの運営

全国各地のフィルムコミッションの「ロケ地情報」等をインターネット上に集約・一括検索を可能とすることで、国内の映画撮影・創造活動を促進

アーカイブ中核拠点形成モデル事業

ポスターやパンフレット等の非フィルム資料のアーカイブ化推進において中核となり得る所蔵館・機関等を拠点化し、当該拠点を中心としたアーカイブ整備を効率的かつ効果的に促進

国際映画祭支援

我が国で開催される、海外発信力のある国際的な映画祭への支援を実施することで、日本映画の国際競争力の向上・日本文化の発信に寄与。〔補助事業〕

- ・ 事業期間：平成23年度～
- ・ 支援対象：6件

※経済産業省との共同実施を含む

アウトプット（活動目標）

日本映画の振興のための各種事業を継続・向上させ、以下目標達成に繋げる。

- ・ 製作実地研修における研修者数
- ・ 映画製作への支援件数
- ・ 3大映画祭など海外映画祭への出品支援数

短期アウトカム（成果目標）

- ・ 研修後の映画製作関連業務への従事率
- ・ 製作支援した作品の国内外の映画祭等における受賞数
- ・ 3大映画祭などの海外映画祭へ出品支援した作品の受賞数

長期アウトカム（成果目標）

- ・ 製作実地研修に参加した若手映画作家等が継続的に商業長編映画監督としてデビューする。
- ・ 我が国の映画文化の一層の振興・発展に資する。
- ・ 日本映画の海外における評価の維持・向上と日本ブランドの確立へ寄与。担当：参事官（芸術文化担当）付